

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		30年 6月 29日		
事務事業名		観光振興事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	産業課	係名	産業振興係	
		5-2 人が集うまちをつくる						シート作成者				
	施策	5-2-1 観光戦略の展開						予算費目	会計	一般		
									款	7		
主要施策	① 観光・交流資源の充実・活用						項		1			
	④ 広域観光体制の充実						目		1			
個別計画名												
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	観光振興会等				観光振興会等の自主活動組織の組織体制強化を図り、観光を通して東員町を広く情報発信します。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		観光振興事業・・・観光集客ができるイベントの企画の提案・運営、特産品の開発など行える組織づくりを行い、本町の観光戦略を図ります。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 18年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
根拠法令・要綱等		東員町建設部産業課に関わる補助金交付要綱 東員町特産品認定要綱										
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0			377			2,536				
財源内訳	国庫支出金	0			0			0				
	県支出金	0			0			0				
	地方債	0			0			0				
	その他特定財源	0			0			0				
	一般財源	0			377			886				
直接事業費（千円）A		0			377			886				
人件費（千円）B		0			0			1,650				
内訳	一般職員（人・千円）	0.00 人	0	0.00 人	0	0.25 人	1,650					
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0					
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度				
					目標	実績	(目標)	(目標)				
	①	特産品認定数		個	0	0	1	3				
	②											
③												
説明	特産品認定数を指標としています。											

事業名	観光振興事業	シート作成課	産業課
-----	--------	--------	-----

一次評価者	産業課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	観光振興を通じた地域活性化には、民間組織の活用は効果的です。	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地域経済の向上に寄与すべく、自主活動において創造的な展開が望まれます。	
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	新たな組織による事業展開に期待し、検証を行います。	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	観光振興会等の自主性と公益性を図ることが重要です。	

本事務事業の実施適切性の説明

観光振興事業については、熱意と実行力を持った若い人を中心に行うことにより、自由な発想と展開が期待でき、経費節減と協働社会の実現及び民間活力の増強を図ることができます。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	広域的な観光の振興事業を推進するとともに、新たな組織として観光振興会の発足に伴い、これまでに実施していたイベントを継続するとともに、新しい発想による事業の企画・運営を実行する自主活動組織としての組織強化を図る必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	観光振興を通じた地域づくりを推進するため、広域的な観光情報の発信や魅力ある新たな観光資源を開拓するとともに、観光客誘致のための取り組みを展開する必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--